

The Chigiri Times

May issue

「あなたの笑顔と私の笑顔」

介護士 竹内 宏依

「あなたの夢はなんですか？」

利用者様のほとんどはこう答えます。

「この歳になると夢や希望もない」

子供の頃は将来の夢をテーマに作文を書いたり、自分はどんな人生を歩むのか楽しみに想像しました。中学生になると進路を決めるために、ある程度具体的な将来を考えなくてはなりません。学校行事の一環としてデイサービスで二日間、職場体験をさせて頂きました。中学生に手伝える事はほとんどなく、利用者様とお話をしたりゲームをしました。緊張でガチガチの私にも優しく接してくれた利用者様達の笑顔が忘れられず、帰る時に「ありがとうね。頑張ってたね。」と言われた時、決意しました。

「老人ホームで働いて、もっと笑顔を増やしたい。」

希望の職に就いて早十三年。中学生の時の決意が揺らぐ時期もありましたが、上司や同僚、何より利用者様の存在が支えとなりここまでやってこられました。夢や希望は強制して持つてもらったものではありません。夢があれば目標も出来て頑張ろうという気持ちになります。が、「ない」と答えても全く問題ありません。ご飯が美味しいと言

って笑ったり、お風呂に入って気持ち良いと笑ったり、私が机にぶつかっただのを見て笑ったり。日常の中の些細な事で笑顔になるのも大切な事だと思います。私だけの力では全員を笑顔にするのは難しいですが、一人でも多くの方が笑って毎日を過ごせるよう頑張ります。

